

七ヶ浜町国民健康保険保健事業実施計画
(第2期データヘルス計画)
中間評価

令和2年度

令和3年3月

七ヶ浜町

目 次

第1章 はじめに

I 背景・目的	1
II 計画期間	1
III 対象者	1
IV 実施体制・関係者連携	1
V 中間評価の趣旨	1

第2章 第2期データヘルス計画の概要

I 健康課題	2
II 個別保健事業の概要と目標	2

第3章 保健事業の中間評価と見直し

I 全体評価	4
II 個別保健事業	5
III 目標値の一覧	7

第1章 はじめに

I 背景・目的

第2期データヘルス計画を策定した平成28年度の本町の状況は、人口が19,126人で、高齢化率が27.9%と県平均よりも高くなっています。国保加入者は4,433人で年々減少傾向にあり、全人口の22.3%と国・県・同規模保険者と比較して低くなっています。また、高齢化に伴い65歳以上の前期高齢被保険者数の割合は国・県よりも高くなっています。医療費は、年々増加傾向にあり、国保被保険者の1人当たり医療費は、県内12位、後期高齢医療制度では県内2位と上位を占めています。

平成27年度の平均寿命と健康寿命の差は、男性で15.1歳、女性19.5歳と女性の方が長寿となっていますが、その分不健康な期間も長い状況にあります。また、この影響で介護等が必要な期間も長期になり、介護費用や医療費を押し上げる要因となるため、健康寿命を延ばし、QOL（生活の質）の維持・向上を図る取り組みが必要です。そのため、被保険者の生活習慣病対策を始めとする健康増進、重症化予防等の保持増進に資する事を目的として、「21世紀における国民健康づくり運動【健康日本21（第2次）】」に示された基本方針を踏まえ、「第2次みやぎ21健康プラン」及び「第2期七ヶ浜町健康増進計画」の評価指標を用いる等、それぞれの計画との整合性を図った位置付けとしています。

II 計画期間

平成30年度（2018年）～令和5年度（2023年）の6年間

III 対象者

七ヶ浜町の国保被保険者

IV 実施体制・関係者連携

特定健診等の保健事業の実施を担う健康福祉課と国民健康保険事務全般を所掌する町民生活課が連携し、本計画の策定・実施に努めています。個別保健事業については、塩釜医師会、七ヶ浜町国民健康保険運営協議会のほか、宮城県国民健康保険団体連合会宮城県保健事業支援・評価委員会において、事業に対する評価・意見の聴取を行っています。平成30年度からは宮城県が市町村国保の運営主体となり共同保険者となったことから、データの提供などを通じて宮城県国民健康保険団体連合会とともに連携しています。各種データは、健診結果やレセプト、KDB（国保データベースシステム）などの分析データとして活用しています。

V 中間評価の趣旨

本計画では、優先的に解決すべき健康課題を把握し、その課題整理に基づく被保険者の健康保持増進に向けて必要な個別保健事業の実施を行ってきました。中間年度にあたる令和2年度においては、平成30年度から令和元年度までに実施した事業の評価と令和3年度から5年度の目標の見直し等を行います。

第2章 第2期データヘルス計画の概要

I 健康課題

平成27年度のKDBデータから、

- ・町の女性の平均寿命が国平均より短い。
- ・男性に比べ女性の寿命が長く、不健康期間も長い。
- ・医療費総額と1日当たりの医療費は、入院・外来ともに年々増加し、医療費総点数は「循環器疾患」が最も高いという傾向がわかりました。

また、患別医療費分析でレセプト件数・医療費総得点の増加が目立ったのは、男性の「慢性閉塞性肺疾患（COPD）・肺気腫」。男女比では、男性の「狭心症・肺がん」、女性の「糖尿病・狭心症・脳梗塞・脳出血」が県・同規模保険者・国平均より大きい値。特定健診における質問票調査の状況から男女に共通していることは、「就寝前（2時間以内）に週3回以上夕食を取る者が多い」「1日あたりの飲酒量が2～3合の者が多い」「生活習慣の改善意欲がある者が少なく意欲がない者が多い」の該当割合が標準化比で県・同規模保険者・国平均と比べると優位水準を満たし、特に40～64歳の若い世代に有意差がありました。特定健診結果では、「血糖高値」及び「血圧高値」の有所見割合が多いことと、「男性では糖尿病、女性では高血圧の受診が少ない」という状況の関与が考えられます。以上のことから、生活習慣病対策に関する優先的課題は、KDB等のデータの健康課題から、「循環器疾患」、その発症一因とも考えられる（特に男性の）「糖尿病」及び（特に女性の）「高血圧」が挙げられ、対策として次の保健事業を計画しました。

II 個別保健事業の概要と目標

事業名	目標	事業概要
①特定健診受診率向上	特定健診受診率 60%	特定健診対象者に受診票を送付、地区組織や各種団体を通じた受診勧奨の啓発を行い、未受診者対策による受診率の向上を目指す。また、40、50歳代の受診率向上を図る。
②特定保健指導実施率向上	特定保健指導実施率 65%	特定健診会場での初回面接分割実施し、動機付け及び積極的支援対象者に、委託業者と連携を図りながら、特定保健指導事業を行う。
③がん検診受診啓発	胃がん 9.6% 肺がん 19.1% 大腸がん 23.8%	がん検診の未受診者対策等により、受診率の向上を図り、早期発見・早期治療に繋げ

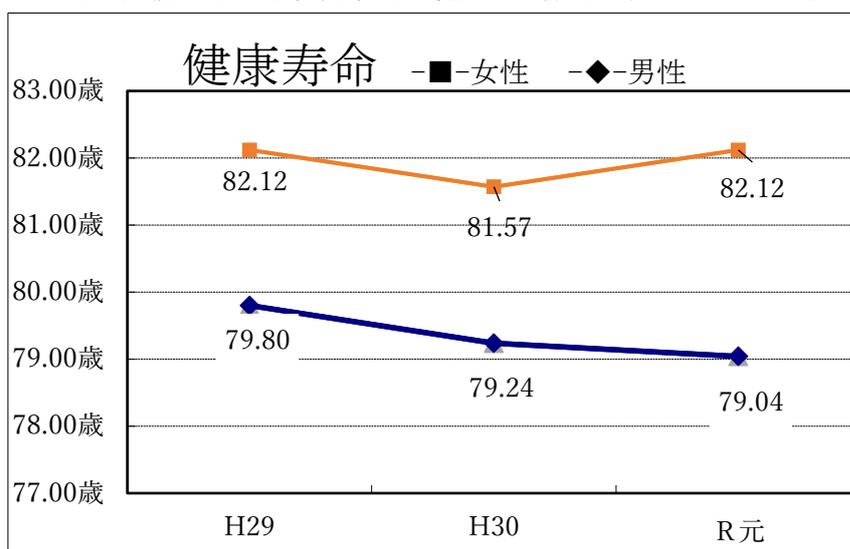
		る。検診項目により、未受診者への通知や追加健診等の対策も行う。
④要治療者への受診勧奨	受診勧奨者非受診率 6.0%	特定健診結果が「要治療」該当者で優先的にフォローを要する者の健康状態や医療機関の受診状況を把握し、受診勧奨することにより、健康問題への対処行動を促し、健康状態のさらなる悪化を防ぐ。
⑤健康づくり継続のための環境整備	学校教育における実施回数 関係機関との打合せ実施回数	生涯を通して主体的に健康づくりに取り組めるよう、関係機関や他職種との連携のもとに、環境の整備を図る。具体的に、小中学校教育における健康づくりに関する取り組みや日常生活における運動の習慣化のための取り組み等、ポピュレーションアプローチを推進し、町民の健康意識の向上を目指す。
⑥重症化予防	医療機関受診率 目標値の設定:無	特定健診結果が有所見者及び喫煙などの不適切な生活習慣のある者に対する生活習慣病の予防。糖尿病の重症化リスクが高い医療機関の未受診者・治療中断者に対する受診勧奨を行い医療に結びつける。糖尿病性腎症等で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い者に対して保健指導を行い、糖尿病の重症化予防と人工透析への移行を緩やかにし、医療費の適正化を図る。

第3章 保健事業の中間評価と見直し

I 全体評価

(1) 健康寿命の延伸

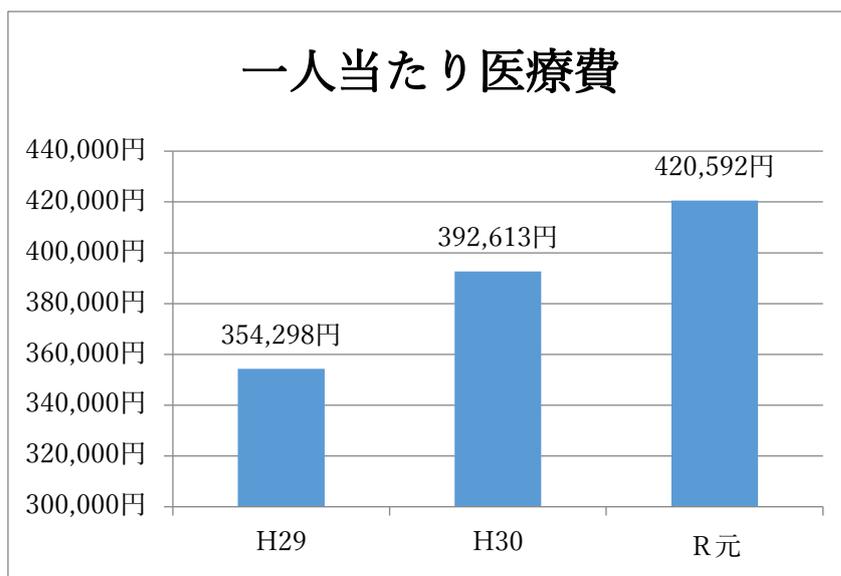
健康寿命は、女性がほぼ横ばい、男性が短くなる傾向にあります。健康寿命の延伸には、被保険者の健康意識向上を目指しながら、健康づくりを推進するために、個別保健事業を実施・評価しながら、長期的な視点で事業を展開していく必要があります。



※出典「データからみたみやぎの健康・概要版 平成29年度版から令和元年度版」より

(2) 医療費の適正化

年間の一人当たりの医療費は増加傾向にあります。今後の高齢化を考慮し、医療費適正化の目標は、緩やかに医療費が上昇する事を目指し、高齢化率と医療費を経年比較します。



II 個別保健事業について

(1) ベースライン・目標値の変更・修正について

① 特定健診受診率向上

目 標	特定健診受診率 60%
修正・変更点	40～49 歳 ベースライン H28 33.6% 目標値 R4 45.6% 50～59 歳 ベースライン H28 36.3% 目標値 R4 48.3%
修正・変更の理由	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度はコロナ感染予防のため健診時期の変更等があり、受診率は低下している。また、その影響は令和3年度も懸念される。 令和3年度より追加健診を予定しており、未受診者の受診勧奨機会を増やすことにより、受診率の緩やかな上昇を目指す。 国が示す特定健診受診率60%の目標は、第3期データヘルス計画までの長期目標と位置付ける。

② 特定保健指導実施率向上

目 標	特定保健指導 65%
修正・変更点	特定保健指導 ベースライン R2 50.7% (予測値) 目標値 R4 51.0%
修正・変更の理由	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診率同様、受診率は低下している。また、令和3年度も影響が懸念されるため、2年度の予測値をベースラインとした。 国が示す特定保健指導65%の目標は、第3期データヘルス計画までの長期目標と位置付ける。

③ がん検診受診啓発

目 標	胃がん 9.6% 肺がん 19.1% 大腸がん 23.8%
修正・変更点	胃がん ベースライン R2 8.4% 目標値 R5 9.4% 肺がん ベースライン R2 15.7% 目標値 R5 16.7% 大腸がん ベースライン R2 17.4% 目標値 R5 18.4%
修正・変更の理由	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、コロナ感染拡大予防で、検診時期の変更や感染の恐れから受診を控える等の影響もあり、受診率が低下した。 令和2年度のコロナ禍の影響を反映したベースラインと目標値に修正する。

④ 要治療者への受診勧奨

目 標	受診勧奨者非受診率 6.0%
修正・変更点	<ul style="list-style-type: none"> Ⅲ度高血圧の割合 ベースライン R2 2.1% 目標値 R5 2.1% HbA1c 8.0以上の割合

	<p>ベースライン R2 0.8% <u>目標値 R5 0.8%</u></p> <p>・受診勧奨者中の受診率</p> <p>ベースライン R2 100% <u>目標 100%(実人数も併せて評価)</u></p>
修正・変更の理由	<p>・医療費総額と1日当たりの医療費が入院・外来ともに年々増加している。中でも医療費総点数で最も高いのが循環器疾患である。</p> <p>・特定健診結果の有所見者割合では、血糖及び血圧の高値割合が多いことから、保健事業では高血圧とHbA1cを評価指標とする必要がある。</p> <p>・対象人数が20人未満と少数となる為、評価時は実人数を受診率と併せて評価する。</p>

⑤ 健康づくり継続のための環境整備

目 標	<p>学校教育における実施回数</p> <p>関係機関との打合せ実施回数</p>
修正・変更点	<p>学校教育における実施回数 <u>5回(小学校3、中学校2)</u></p> <p>関係機関との打合せ実施回数 <u>年5回</u></p>
修正・変更の理由	<p>・若い世代に対するアプローチを実現する上で、小中学校との連携は専門委員の評価が高かった。</p> <p>・学校の授業時間等の実情に合わせた打合せ方法や時期を検討する。</p>

⑥ 重症化予防

目 標	<p>医療機関受診率 目標値の設定：無</p>
修正・変更点	<p>R4 評価指標</p> <p>・<u>HbA1c 8.0以上の糖尿病未治療者の医療機関受診率50%(実人数も併せて評価)</u></p> <p>・<u>糖尿病治療中断者の受診率 50%(実人数も併せて評価)</u></p>
修正・変更の理由	<p>・事業の評価指標を参考に目標値などの設定を検討し、上記の評価指標にした。</p> <p>・最終評価値は、実人数が少数のため、受診率と併せて評価する事が必要である。</p>

Ⅲ 目標値の一覧

項目		
肥満 BMI 25 以上	男性	ベースライン H28 25.9% R1 24.7% 目標値 R4 24.0%
	女性	ベースライン H28 72.7% R1 64.5% 目標値 R4 64.0%
血糖 HbA1c 5.6 以上	男性	ベースライン H28 69.2% R1 62.5% 目標値 R4 62.0%
	女性	ベースライン H28 49.2% R1 45.7% 目標値 R4 45.0%
血圧(収縮期 130 以上) (拡張期 85 以上)	男性	ベースライン H28 39.6% R1 28.2% 目標値 R4 28.0%
	女性	ベースライン H28 38.4% R1 40.6% 目標値 R4 40.0%

ターゲット層を含む法定報告対象である 40～64 歳を特定健診受診結果の平成 28 年度をベースラインとしました。

40～64 歳は、特定保健指導でも積極的支援対象年齢になるため（65 歳以上は、動機付け支援のみ）、令和元年度を中間評価した上で、最終年度評価指標の参考値とします。

七ヶ浜町国民健康保険保健事業実施計画

(第2期データヘルス計画) 中間評価

令和2年度

令和3年3月発行

編集発行 七ヶ浜町 町民生活課

〒985-8577 宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5番地の1

TEL 022-357-7446